



# 炊飯器の輸出

大阪税関調査統計課  
平成 29 年 10 月 19 日

## ～ 人気再上昇中、MADE IN JAPAN の炊飯器 ～

### はじめに

食欲の秋。スーパーで「新米の入荷！」のポップを見かけるようになりました。新米ならではのふくらした美味しい白いご飯は秋だけの特別感があります。最近は、新米ご飯の炊きあがりを年中味わえるよう高機能な炊飯器が各メーカーから発売されています。

日本人には身近な炊飯器ですが、日本製の炊飯器はアジアからの観光客にもお土産として人気が高く、家電量販店の外国人旅行者向けコーナーでもよく見かけます。

日本食には欠かせないお米の収穫への感謝と、ご飯食の更なる消費拡大を願い、日本電機工業会（JE MA）は毎年 11 月 23 日の勤労感謝の日を「炊飯器の日」に定めたと昨年 10 月に発表しました。

今回はそんな炊飯器の輸出を取り上げてみました。

※本資料において炊飯器は統計品目番号 8516.79-100（家庭において使用する電気がま）の輸出を集計しています。

### 全国・近畿圏 輸出推移

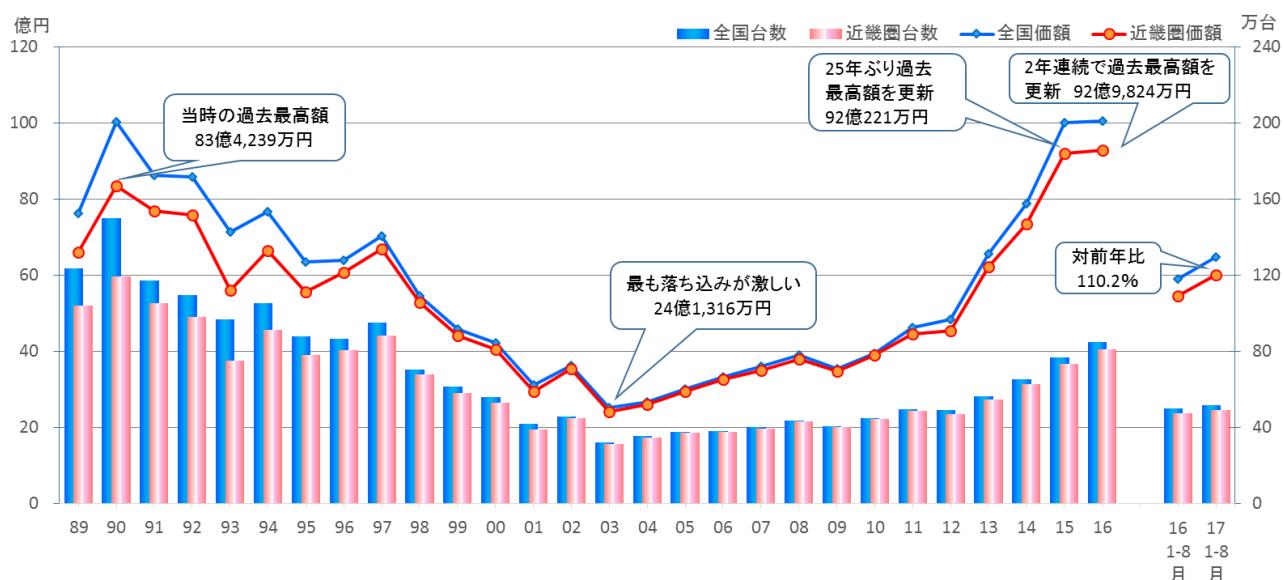
炊飯器の輸出は価額・台数共に近畿圏の占める割合が高く、2016 年は価額の 92.4%、台数の 95.4% を占めています。

近畿圏の輸出価額の推移を見ると 1990 年に 83 億 4,239 万円で当時の過去最高額<sup>(注)</sup>を記録しました。その後、炊飯器メーカーの国内工場が相次いで海外移転し、輸出は徐々に減少しましたが、2003 年を底に徐々に回復し、2015 年に 92 億 221 万円となり、25 年ぶりに過去最高額を更新しました。さらに 2016 年は 92 億 9,824 万円となり 2 年連続で過去最高額となっています。直近では 2017 年 1~8 月は対前年同期比 110.2% となっています。

近畿圏の輸出台数は 2016 年に 80 万 9,462 台となりました。

(注) 過去最高額は比較可能な電子データのある 1979 年 1 月以降。

### 輸出貿易額/台数の推移



## 近畿圏 国別輸出構成比

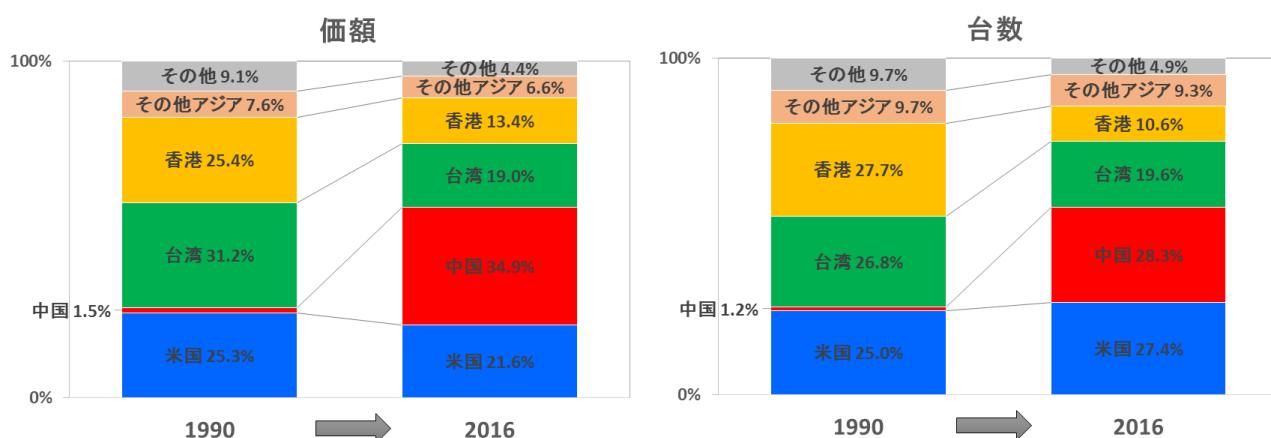
当時の過去最高額だった 1990 年と直近の 2016 年の国別構成比を比較すると、いずれの年代も価額・台数とともにアジア向けと米国向けが大半を占めています。

価額構成比は 2016 年にはアジア向けが 74.0% となっており、米国向けと合わせて 95.6% になっています。台数構成比は 2016 年にはアジア向けが 67.7% となっており、米国向けと合わせて 95.1% になっています。

アジアの中では中国向けが大きく伸びており、価額構成比は 1.5% から 34.9% に増加し、台数構成比も 1.2% から 28.3% と増加しています。

米国の価額構成比・台数構成比においては大きな変化は見られません。

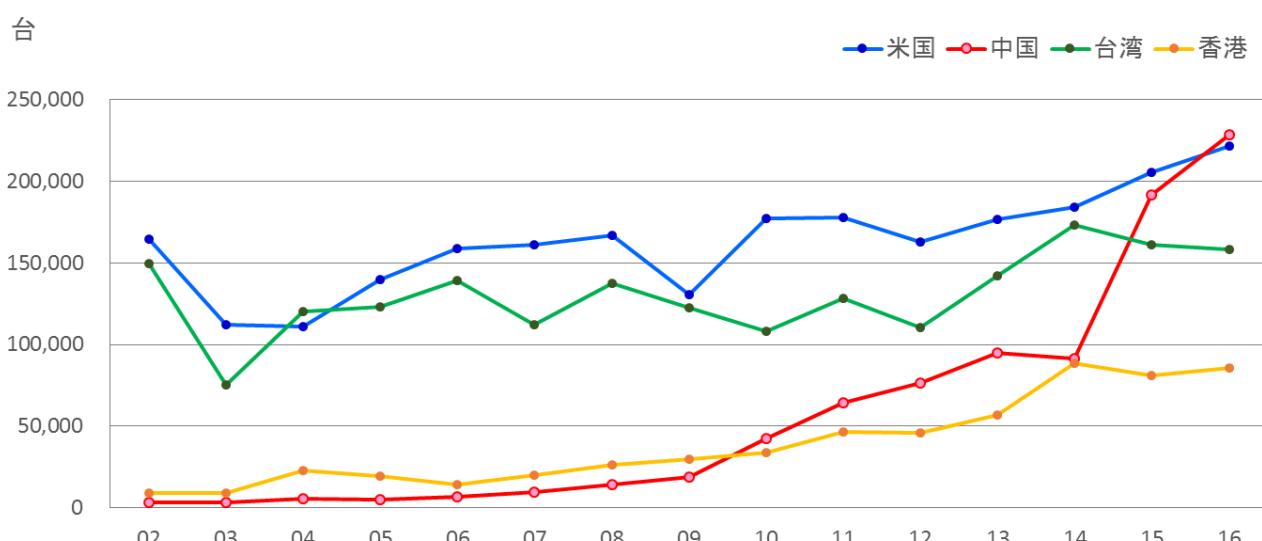
## 近畿圏 国別輸出構成比



## 近畿圏 国別輸出台数の推移

輸出台数の推移を見ると、いずれの国も 2002~2004 年を底に 2010 年頃から徐々に増加しました。特に中国向けは 2015 年に 19 万 1,700 台と急激に増加し、2016 年には 22 万 8,713 台となり米国を抜いて最大の輸出相手国となりました。米国向けは 2013 年から 4 年連続して増加し 22 万 1,809 台となりました。

## 近畿圏 国別輸出台数



## 近畿圏 国別輸出単価推移

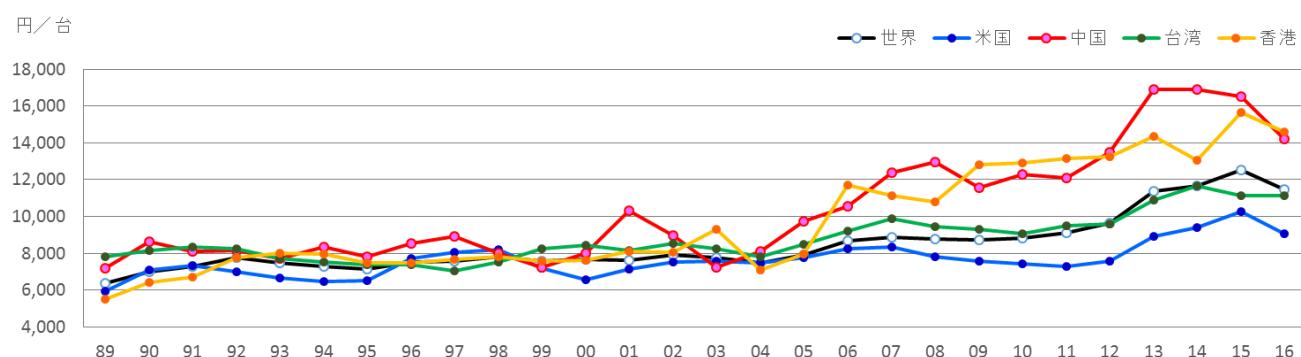
単価については、1990年当時6,979円だった炊飯器の平均単価は徐々に上昇を続け、2013年には1万円を超え、2016年は11,487円となりました。

特に、中国向けの単価は、富裕層の拡大を背景に高機能の上位機種の輸出が増加していることから、2006年から11年連続で1万円を超え2016年には14,206円となり、世界平均単価を大きく上回るようになりました。

また、米国向けでは概ね1万円以下で推移しており、顧客層には東洋人だけでなく日本食好きの人々が含まれ、機能を抑えた価格の安い製品が輸出されているそうです。

さらに、輸出されている炊飯器は見た目がほぼ同じであっても、炊きあがりやメニューなどに各国の個性が表れるそうです。このような炊飯器の種類の違いも輸出単価に反映されているとのことです。

## 国別単価推移



## 今後の展望

業界によると、日本製のIH式炊飯器は、高品質・高価格のブランドとして認知されているとのことです。

メーカーでは、米食文化のあるアジア圏の経済発展に伴い、今後も日本製炊飯器の購入可能な層が広がると考えており、中国、台湾に留まらず、各国市場を開拓していくとのことです。

また2013年の和食の世界文化遺産登録をきっかけに、日本食が肥満対策として受け入れられている米国への輸出拡大を目指していくとのことです。



※本資料を他に転載するときは、大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。

本資料に関する問い合わせは、大阪税関調査部調査統計課まで。

(電話 06-6966-5385)

※大阪税関ホームページ(<http://www.customs.go.jp/osaka/>)



## ～おわりに～



・自動式の電気炊飯器の歴史は古く 1950 年代に国内で第一号が製造され、ご飯を主食とするアジアを中心へ輸出されるようになりました。1980 年頃からは米国の日本食ブームによる影響で輸出が拡大しました。しかし、1990 年代には円高の影響で日本の製造業の工場の海外移転が相次ぎ、輸出は徐々に減少し、日本は炊飯器の輸入国になりました。それでも、いくつかのメーカーは国内の工場で上位機種の生産を続け、その性能の高さが外国で再評価され、徐々に輸出が増えてきました。

### ・メーカーの苦労話

一口にご飯と言っても、国が違えば好みの味や硬さ・匂いもさまざままで、採れる米の品種や銘柄もそれぞれです。メーカーによると各国から米を取り寄せて、好みに合わせた炊き上がりになるようにテストを何度も繰り返し、現地スタッフの意見も取り入れながら各国向けの炊飯器を開発しているとのことです。国内外にいる試食専門スタッフは一日に大量のご飯を試食するので健康管理をしながら究極の炊飯器を開発しているそうです。また、国民性に合わせて、炊飯時間を短くしたり、蒸し器を付けたり、お米の品種の炊き分け機能を付けたりと一つ一つ丁寧に対応しているとのことです。

販売に当たっては、レシピを開発して米食を普及することから始まり、クッキング教室を開いたり、性能を視覚的に訴えるために現地メーカーの炊飯器と比較する実演販売を行うなど、地道に活動を続け **「MADE IN JAPAN」** をアピールしているとのことです。



## 【データ集】

### 輸出数量・価額実績

年	全国				近畿					
	台	前年比	百万円	前年比	台	前年比	全国比	百万円	前年比	全国比
1989	1,237,674	105.2%	7,634	118.9%	1,040,490	107.9%	84.1%	6,600	120.8%	86.5%
1990	1,499,890	121.2%	10,041	131.5%	1,195,317	114.9%	79.7%	8,342	126.4%	83.1%
1991	1,172,159	78.1%	8,630	85.9%	1,054,694	88.2%	90.0%	7,688	92.2%	89.1%
1992	1,096,706	93.6%	8,585	99.5%	978,449	92.8%	89.2%	7,581	98.6%	88.3%
1993	967,057	88.2%	7,128	83.0%	750,700	76.7%	77.6%	5,603	73.9%	78.6%
1994	1,053,577	108.9%	7,670	107.6%	912,702	121.6%	86.6%	6,642	118.5%	86.6%
1995	878,856	83.4%	6,349	82.8%	779,437	85.4%	88.7%	5,569	83.8%	87.7%
1996	865,857	98.5%	6,401	100.8%	805,343	103.3%	93.0%	6,065	108.9%	94.7%
1997	950,479	109.8%	7,026	109.8%	883,776	109.7%	93.0%	6,682	110.2%	95.1%
1998	701,665	73.8%	5,458	77.7%	676,778	76.6%	96.5%	5,282	79.0%	96.8%
1999	612,210	87.3%	4,583	84.0%	581,182	85.9%	94.9%	4,404	83.4%	96.1%
2000	558,447	91.2%	4,211	91.9%	529,466	91.1%	94.8%	4,054	92.1%	96.3%
2001	419,392	75.1%	3,108	73.8%	387,115	73.1%	92.3%	2,951	72.8%	95.0%
2002	455,551	108.6%	3,630	116.8%	447,803	115.7%	98.3%	3,540	120.0%	97.5%
2003	319,905	70.2%	2,510	69.2%	311,160	69.5%	97.3%	2,413	68.2%	96.1%
2004	354,098	110.7%	2,671	106.4%	347,864	111.8%	98.2%	2,593	107.5%	97.1%
2005	377,682	106.7%	3,007	112.6%	372,931	107.2%	98.7%	2,943	113.5%	97.8%
2006	379,936	100.6%	3,329	110.7%	375,409	100.7%	98.8%	3,260	110.8%	97.9%
2007	402,161	105.8%	3,613	108.5%	393,816	104.9%	97.9%	3,493	107.2%	96.7%
2008	437,311	108.7%	3,893	107.7%	431,348	109.5%	98.6%	3,791	108.5%	97.4%
2009	404,168	92.4%	3,543	91.0%	399,629	92.6%	98.9%	3,478	91.7%	98.2%
2010	446,085	110.4%	3,951	111.5%	442,643	110.8%	99.2%	3,894	112.0%	98.6%
2011	496,840	111.4%	4,627	117.1%	487,632	110.2%	98.1%	4,446	114.2%	96.1%
2012	490,919	98.8%	4,846	104.8%	470,426	96.5%	95.8%	4,533	101.9%	93.5%
2013	564,750	115.0%	6,573	135.6%	546,812	116.2%	96.8%	6,224	137.3%	94.7%
2014	653,424	115.7%	7,889	120.0%	628,849	115.0%	96.2%	7,346	118.0%	93.1%
2015	769,001	117.7%	10,009	126.9%	733,643	116.7%	95.4%	9,202	125.3%	91.9%
2016	848,467	110.3%	10,059	100.5%	809,462	110.3%	95.4%	9,298	101.0%	92.4%
2016 1~8月	497,218	108.1%	5,910	98.0%	474,097	108.5%	95.3%	5,464	99.3%	92.5%
2017 1~8月	517,631	104.1%	6,474	109.6%	491,309	103.6%	94.9%	6,019	110.2%	93.0%

### 近畿圏 国別輸出数量・価額・単価実績

年	米国					中華人民共和国				
	台	前年比	百万円	前年比	円/台	台	前年比	百万円	前年比	円/台
1989	310,444	89.5%	1,842	110.5%	5,934	1,946	全増	14	全増	7,178
1990	298,347	96.1%	2,109	114.5%	7,067	14,055	722.3%	121	867.4%	8,620
1991	286,307	96.0%	2,095	99.4%	7,317	27,043	192.4%	219	180.6%	8,091
1992	254,665	88.9%	1,777	84.8%	6,978	37,010	136.9%	301	137.8%	8,146
1993	149,848	58.8%	998	56.2%	6,660	24,830	67.1%	192	63.7%	7,734
1994	253,620	169.3%	1,633	163.7%	6,440	44,086	177.6%	368	191.8%	8,353
1995	232,847	91.8%	1,515	92.8%	6,508	68,876	156.2%	537	145.8%	7,795
1996	198,925	85.4%	1,533	101.2%	7,705	64,444	93.6%	549	102.3%	8,525
1997	233,656	117.5%	1,884	122.9%	8,062	71,408	110.8%	637	116.0%	8,924
1998	215,460	92.2%	1,763	93.6%	8,181	46,810	65.6%	375	58.8%	8,005
1999	214,349	99.5%	1,536	87.1%	7,165	38,296	81.8%	277	74.0%	7,245
2000	196,935	91.9%	1,295	84.3%	6,577	21,701	56.7%	174	62.6%	8,008
2001	174,506	88.6%	1,248	96.3%	7,150	8,132	37.5%	84	48.3%	10,312
2002	164,519	94.3%	1,235	99.0%	7,506	3,158	38.8%	28	33.8%	8,984
2003	112,373	68.3%	852	69.0%	7,585	3,418	108.2%	25	87.3%	7,244
2004	111,146	98.9%	830	97.3%	7,465	5,367	157.0%	44	175.9%	8,114
2005	140,048	126.0%	1,087	131.0%	7,758	4,765	88.8%	46	106.3%	9,713
2006	158,642	113.3%	1,310	120.6%	8,257	6,663	139.8%	70	152.2%	10,569
2007	161,081	101.5%	1,345	102.7%	8,350	9,732	146.1%	120	170.9%	12,364
2008	166,747	103.5%	1,305	97.0%	7,825	14,055	144.4%	182	151.1%	12,937
2009	130,584	78.3%	988	75.7%	7,562	19,004	135.2%	220	120.9%	11,568
2010	177,364	135.8%	1,314	133.0%	7,406	42,317	222.7%	520	236.4%	12,280
2011	177,709	100.2%	1,291	98.2%	7,262	64,071	151.4%	775	149.1%	12,091
2012	162,942	91.7%	1,236	95.8%	7,586	76,458	119.3%	1,032	133.2%	13,496
2013	176,427	108.3%	1,573	127.3%	8,918	94,720	123.9%	1,602	155.2%	16,911
2014	184,136	104.4%	1,727	109.8%	9,379	91,340	96.4%	1,544	96.4%	16,908
2015	205,541	111.6%	2,114	122.4%	10,283	191,700	209.9%	3,164	204.9%	16,503
2016	221,809	107.9%	2,010	95.1%	9,062	228,713	119.3%	3,249	102.7%	14,206

## 近畿圏 国別輸出数量・価額・単価実績

年	台湾					香港					アジア				
	台	前年比	百万円	前年比	円/台	台	前年比	百万円	前年比	円/台	台	前年比	百万円	前年比	円/台
1989	279,712	146.8%	2,187	145.5%	7,817	271,347	106.7%	1,494	108.0%	5,506	644,356	122.7%	4,230	128.2%	6,565
1990	320,487	114.6%	2,604	119.1%	8,126	331,204	122.1%	2,117	141.7%	6,391	781,269	121.2%	5,478	129.5%	7,011
1991	271,951	84.9%	2,269	87.1%	8,344	274,422	82.9%	1,834	86.7%	6,684	686,987	87.9%	5,029	91.8%	7,320
1992	349,485	128.5%	2,877	126.8%	8,232	205,105	74.7%	1,588	86.6%	7,744	661,492	96.3%	5,320	105.8%	8,042
1993	270,045	77.3%	2,083	72.4%	7,712	183,914	89.7%	1,474	92.8%	8,015	537,638	81.3%	4,159	78.2%	7,736
1994	273,157	101.2%	2,052	98.5%	7,512	195,340	106.2%	1,555	105.5%	7,962	599,337	111.5%	4,594	110.4%	7,664
1995	227,392	83.2%	1,682	81.9%	7,395	103,829	53.2%	775	49.8%	7,460	475,022	79.3%	3,558	77.5%	7,491
1996	278,810	122.6%	2,056	122.3%	7,376	126,555	121.9%	946	122.1%	7,475	546,443	115.0%	4,109	115.5%	7,520
1997	353,254	126.7%	2,480	120.6%	7,021	80,044	63.2%	612	64.7%	7,648	590,287	108.0%	4,355	106.0%	7,377
1998	238,911	67.6%	1,796	72.4%	7,518	62,548	78.1%	489	80.0%	7,826	407,546	69.0%	3,093	71.0%	7,590
1999	154,503	64.7%	1,273	70.9%	8,238	44,398	71.0%	337	68.8%	7,590	323,328	79.3%	2,569	83.1%	7,946
2000	150,621	97.5%	1,268	99.6%	8,416	25,961	58.5%	197	58.6%	7,605	294,139	91.0%	2,488	96.8%	8,458
2001	107,363	71.3%	875	69.0%	8,148	9,510	36.6%	77	38.9%	8,075	178,484	60.7%	1,441	57.9%	8,073
2002	149,884	139.6%	1,276	145.9%	8,515	8,847	93.0%	71	92.9%	8,065	244,144	136.8%	2,005	139.1%	8,211
2003	75,340	50.3%	621	48.7%	8,248	9,168	103.6%	85	119.6%	9,311	151,169	61.9%	1,191	59.4%	7,879
2004	120,379	159.8%	940	151.2%	7,807	22,853	249.3%	162	189.3%	7,070	190,688	126.1%	1,425	119.7%	7,474
2005	122,917	102.1%	1,045	111.2%	8,506	19,197	84.0%	153	94.5%	7,956	202,895	106.4%	1,621	113.7%	7,987
2006	139,270	113.3%	1,282	122.6%	9,203	14,372	74.9%	168	110.2%	11,712	191,336	94.3%	1,746	107.7%	9,123
2007	112,408	80.7%	1,110	86.6%	9,873	19,982	139.0%	222	132.0%	11,116	194,180	101.5%	1,849	105.9%	9,521
2008	137,452	122.3%	1,295	116.7%	9,423	26,444	132.3%	285	128.3%	10,772	232,851	119.9%	2,218	120.0%	9,524
2009	122,593	89.2%	1,143	88.2%	9,322	29,611	112.0%	380	133.3%	12,827	224,841	96.6%	2,159	97.4%	9,603
2010	107,865	88.0%	978	85.6%	9,067	33,778	114.1%	437	115.0%	12,927	227,230	101.1%	2,281	105.7%	10,040
2011	128,397	119.0%	1,216	124.4%	9,473	46,340	137.2%	609	139.4%	13,137	280,256	123.3%	2,922	128.1%	10,427
2012	110,560	86.1%	1,059	87.1%	9,581	45,723	98.7%	606	99.6%	13,256	278,270	99.3%	3,053	104.5%	10,971
2013	142,054	128.5%	1,547	146.0%	10,888	56,737	124.1%	814	134.4%	14,355	341,007	122.5%	4,376	143.3%	12,833
2014	173,232	121.9%	2,017	130.4%	11,644	88,781	156.5%	1,160	142.4%	13,061	407,345	119.5%	5,241	119.8%	12,865
2015	161,202	93.1%	1,791	88.8%	11,108	80,857	91.1%	1,265	109.1%	15,646	501,644	123.1%	6,807	129.9%	13,569
2016	158,352	98.2%	1,764	98.5%	11,142	85,521	105.8%	1,249	98.7%	14,607	547,988	109.2%	6,879	101.1%	12,553

(参考)

## 輸入数量・価額実績

年	全国				近畿							
	千台	前年比	百万円	前年比	千台	前年比	全国比	百万円	前年比	全国比	千台	前年比
1998	1,333	全増	4,631	全増	875	全増	65.6%	4,081	全増	88.1%		
1999	1,456	109.2%	5,645	121.9%	1,193	136.3%	81.9%	4,698	115.1%	83.2%		
2000	2,074	142.4%	7,693	136.3%	1,461	122.5%	70.4%	5,449	116.0%	70.8%		
2001	2,322	112.0%	8,906	115.8%	1,721	117.8%	74.1%	6,777	124.4%	76.1%		
2002	2,793	120.2%	10,485	117.7%	2,215	128.7%	79.3%	8,315	122.7%	79.3%		
2003	2,914	104.3%	9,824	93.7%	2,346	105.9%	80.5%	7,764	93.4%	79.0%		
2004	2,847	97.7%	9,037	92.0%	2,316	98.7%	81.4%	7,293	93.9%	80.7%		
2005	3,050	107.1%	9,567	105.9%	2,552	110.2%	83.7%	8,017	109.9%	83.8%		
2006	2,831	92.8%	9,404	98.3%	2,302	90.2%	81.3%	7,734	96.5%	82.2%		
2007	2,670	94.3%	9,919	105.5%	2,003	87.0%	75.0%	7,437	96.2%	75.0%		
2008	2,360	88.4%	8,593	86.6%	1,779	88.8%	75.4%	6,477	87.1%	75.4%		
2009	2,300	97.5%	8,001	93.1%	1,694	95.2%	73.7%	5,949	91.8%	74.3%		
2010	2,262	98.3%	7,090	88.6%	1,615	95.3%	71.4%	5,260	88.4%	74.2%		
2011	2,226	98.4%	6,653	93.8%	1,537	95.2%	69.1%	4,805	91.4%	72.2%		
2012	2,270	102.0%	7,328	110.2%	1,475	96.0%	65.0%	5,103	106.2%	69.6%		
2013	2,138	94.2%	7,505	102.4%	1,463	99.2%	68.4%	5,262	103.1%	70.1%		
2014	2,110	98.7%	7,925	105.6%	1,396	95.4%	66.2%	5,179	98.4%	65.3%		
2015	2,160	102.4%	8,836	111.5%	1,239	88.8%	57.4%	4,991	96.4%	56.5%		
2016	2,498	115.6%	9,011	102.0%	1,116	90.1%	44.7%	4,047	81.1%	44.9%		
2016 1~8月	1,671	120.4%	6,051	108.2%	762	92.1%	45.6%	2,753	84.5%	45.5%		
2017 1~8月	1,985	118.8%	8,235	136.1%	709	93.1%	35.7%	2,716	98.6%	33.0%		

※輸入については統計品目番号 8516.79-010（家庭において使用する電気がま）を集計しています。

